

一般質問

質問 公共施設再編計画中間案策定に向けて開催した、市民による意見交換会や市民会議、討議会などでの意見が十分反映されたのか伺う。

答弁 市民から個別施設の在り方や施設の管理運営手法、受益者負担の適正化、民間活力の活用などについての意見をいただき、適宜計画に反映している。今後、市の考えと併せて計画書に掲載し、公共施設以外の施策については、庁内横断的に課題解決に向けた検討を進める。

質問 計画策定後の財政基盤の推移と市民サービス機能にどのような影響があるのか伺う。

答弁 現在の施設をそのまま更新する場合、財源が45%不足すると見込んでいる。施設の適正化と財政の健全化を目指し、継続する施設については改修の考え方や必要経費などを保全計画としてまとめる。施設の集約化に伴い移動が困難になる場合は、公共施設の再編と併せ、公共交通などの移動手段を検討する。

質問 湯沢図書館の再編計画による中間案では機能は継続し、建物は移転、複合化の検討が必要となっているが、消防庁舎跡地の利活用についてはどのような考えがあるのか伺う。

答弁 湯沢図書館は老朽化が進み駐車場や館内も狭い。市民ニーズを反映しながら公共施設再編計画に沿って検討していく。広域消防署解体後

の利活用については、今のところ未定だが、今後有効活用すべきであり検討を加える。

質問 教職員の多忙化解消に向けた業務内容の改善についての考えを伺う。

答弁(教育長) 平成30年8月に学校現場と教育委員会による検討会を立ち上げ、県の多忙化防止計画に基づき、多忙化解消のための「小・中学校業務改善計画」を策定し、時間管理や組織力による改善などの対策を講じていく。

質問 文部科学省が制度化した部活動指導員の設置について、見通しと教職員の負担軽減についての考えを伺う。

答弁(教育長) 中学校においては、部活動指導員の配置が、担当教員の負担軽減対策として効果があると認識している。平成31年度中の制度設計、平成32年度からの実施に向けて準備を進めたい。課題である月80時間を超える超過勤務の是正を図りたい。



いしかわ 石川 隆一 議員



湯沢市議会 YouTubeチャンネル
一般質問の動画を
ご覧いただけます。

▲公共施設再編計画について
▲認知症対策について
▲教職員の多忙化解消対策について

質問 今後の観光産業の具体的な方向性について伺う。

答弁 一昔前は団体旅行が主流であったが、現在は、個人が自由に見て回るタイプの旅行が主流となってきた。加えて、外国人訪問者数も増加の傾向が見られ、本市の統計においては、平成29年度の外国人宿泊客数が1580人であるのに対し、平成30年度は2346人となっている。これらの変化に対応するため

に、これまでの観光産業に限定されたサービス提供から、さまざまな分野の産業においてビジネスチャンスが広がっているものと考ええる。観光客が求めるサービスニーズに対しさまざまな分野のかたがたが連携し、協力していくことが、今後の観光産業の発展につながるものと考えている。

質問 本市の伝統、歴史ある地場産業の伝承、振興について、どのようにしていくつもりか。また、地場産業を支えてきた各業界の担い手や職人、いわゆるプロフェッショナルと呼ばれる人材の確保、保護、次世代への育成をどのように考えているのか伺う。

答弁 事業者への支援はもとより、各業界で組織する団体が行う振興事業に対しても継続して支援を行うことと、市内全体の経済および地場産業などの強化、発展につなげていきたい。課題となっている産業の担い手や、職人の高齢化、人材不足につ

いては、後継者育成事業への補助金や基幹技術継承補助金の交付による人材の確保および育成に継続して取り組んでいく。また、漆器産業に関わる地域おこし協力隊については、3年間の協力隊活動を経て、漆器産業の担い手として定住が図られるように秋田県漆器工業協同組合との連携を強化して進めていく。

質問 市ホームページのリニューアル、刷新の予定はないのか伺う。

答弁 現行ホームページのコンテンツマネジメントシステムは、旧型のプログラミング言語で構築されているために、セキュリティ面で課題が多く、また、オープンデータやSNSなどと連携ができないなど、業務の効率化につながる機能が不足している状況であり、新システムの導入を計画している。導入スケジュールとして、平成32年の秋ごろから試験運用を開始し、平成33年度の本格公開を目指すこととしている。



たかはし 高橋 健 議員



湯沢市議会 YouTubeチャンネル
一般質問の動画を
ご覧いただけます。

▲観光と産業について